

江府町 地域おこし協力隊 通信

今年8月から江府町に新たに着任した2名の地域おこし協力隊員。着任して2カ月が過ぎましたが、町にも少しずつ慣れ、日々新たな発見の連続です。今月号も、江府町の地域おこし協力隊員の活動を報告します。

今月号のテーマ 「経験してわかったこと」

農業部門（活動内容：農事組合法人宮市での商品開発など）



にしじま としあき
西嶋 俊明

協力隊赴任もあっという間にひと月が過ぎ、農事組合法人宮市も稲刈りシーズンに突入しました。あるとき、稲の中に生えている“センダングサ”を抜きに田んぼに入りました。ところが、途中で足が抜けなくなり、あがくほど深みにハマっていきます。これが、底なし沼か！と妙に感心しながら、何とか抜け出しました（笑）何事も経験だなと思いました。

話は変わりますが、自宅に住み着いていた仲良しのトノサマガエル「イナズマ君（背中模様が見えるので）」が、台風10号の少し前に姿が見えなくなりました。どこに行ったのだろうと気にかけていましたが、どうやら、夜中に庭で鳴いているようで、安心しました。みなさん、10月も元気いっぱい駆け抜けましょう！



イナズマ君

ふるさと教育（活動内容：日野郡公設塾まなびや「縁側」での塾講師）



あべ まさき
阿部 将樹

厳しい残暑も終わりを見せ、秋めいた日々となりました。公務員志望などの生徒はすでに受験を終え、今は地元就職志望の生徒の進路指導に追われています。

9月3日（木）に「日野郡公設塾まなびや縁側オープニングセレモニー」がありました。鳥取県教育委員会の山本教育長にご出席たまわりました。セレモニーでは「縁側」のこれまでの活動報告や今後の展望などを発表させていただき、改めて「縁側」の活動をみなさまに知っていただく機会になったのではないかと思います。

他にも、9月15日（火）・16日（水）に江府中学校にお邪魔して、一般社団法人i.clubの皆さんが実施するアントレプレナーシップ教育事業「イノチャレ」にてモチベーションメンター（生徒のモチベーションサポーター）として関わりました。まちで活躍する大人の話をつき、自分たちのまちへの「好き」や「思い」をアイデアにしていく生徒の姿はとてもキラキラしていてカッコ良く、その成長を近くで見ていると少し泣きそうになりました……。

10月に入り、いよいよ本格的に就職試験や高校のテストが始まります。生徒の未来に直結する勝負の秋。気温は涼しくも「縁側」はまだまだアツくなりそうです。



▲「イノチャレ」の様子



▲オープニングセレモニーの様子